



「第4回 三軒茶屋駅周辺まちづくり会議」を開催しました

2019年10月から始めた「三軒茶屋駅周辺まちづくり会議」は、今回で第4回目の開催となり、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、オンラインで開催しました。

(仮称)三茶のミライ(素案)を区から報告し、トークセッションや意見交換の中で参加者の皆さんからまちづくりに関する意見を頂戴しながら、会議を進めました。

まちづくり会議プログラム

第1部

1. 区長あいさつ
2. 委員長メッセージ
3. (仮称)三茶のミライ(素案)の報告

第2部

4. 登壇者紹介
5. トークセッション
6. 意見交換
7. 閉会のあいさつ

(仮称)三茶のミライ(素案)についてご報告しました



主な報告内容

- 三茶のミライの目的と位置づけ
- みんなの意見はどのように計画に活かされたのか
- 9つの未来像
- まちの空間デザインの大切な4つのポイント
- 今後の展望
- まちづくり推進体制
- 推進プロセス



「三茶のミライ」のこれから

「三茶のミライ」はまちづくり会議や区民意見募集のご意見やアイデアを踏まえてとりまとめてまいります。また、今後もまちづくり会議を継続しながら、清掃活動など身近な活動や社会実験の実施、まちづくりの推進体制の構築に向けた検討を行いながら、「三茶のミライ」の実現に向けて、みなさんと取り組んでまいります。

第4回 三軒茶屋駅周辺 まちづくり会議

開催レポート

9月25日開催の第4回まちづくり会議の様子をお届けします。
113名の方に参加いただきました。

世田谷区ホームページでもご覧いただけます。



東京都市大学・坂井文まちづくり検討委員長からのメッセージ



せたがや動画 (YouTube) で配信中です。



開催にあたり、地元有識者や学識経験者から構成された専門的見地から調査・検討を行う三軒茶屋駅周辺まちづくり検討委員会の坂井委員長から「三軒茶屋で働き、生活する皆さんには今後もまちづくりを続けていって欲しい。そのためには、まずご自身の関心・興味があることから始めるのが一番であり、トークセッションや意見交換を通じて、皆さんの思いを共有し、何かのアクションへ繋がると良いと思っている。」とメッセージをいただきました。

登壇者の紹介

三茶WORKの吉田さんを進行役に、三軒茶屋駅周辺に関わりを持つ多彩なメンバーに登壇いただき、トークセッションと意見交換を行いました。

せたがや動画 (YouTube) で配信中です。



進行役

吉田 亮介氏 (三茶ワークカンパニー株式会社 共同代表)
・ コワーキングスペース「三茶WORK」を運営



登壇者

飯島 祥夫氏 (三軒茶屋銀座商店街振興組合 理事長)
・ 三軒茶屋銀座商店街の振興に尽力



松下 洋章氏 (公益財団法人せたがや文化財団
世田谷文化生活情報センター 副館長)
・ パブリックシアター、生活工房等で事業を展開



杉浦 久子氏 (昭和女子大学環境デザイン学科
建築コース 教授)
・ 世田谷アートタウン等に参加



萩野 正和氏 (株式会社connel 代表取締役)
・ 地域づくりプロデューサーとして活動

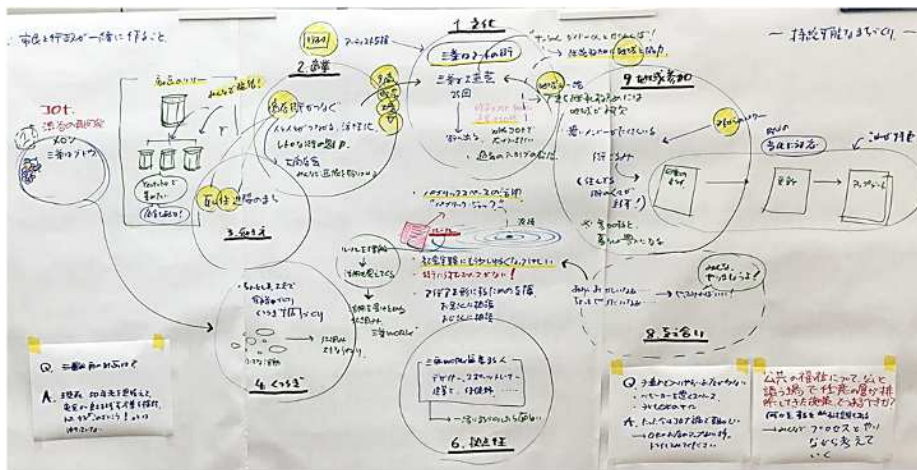


トークセッション

トークセッションは「三茶のミライ策定の感想」、「三茶での参加と協働による持続可能なまちづくりを広げていくには」の2つのテーマについて話しました。

登壇者から、商業や文化の観点からのお話や、「三茶のミライの特徴は、まちぐるみで作っており、変化にすぐさま対応できるような計画となっている」などの感想をいただきました。

また、「商店街は、個性豊かな拠点を結ぶ役割を担っていきたい」、「まちの活動に関わりながら暮らしていくと、まちも良くなるし、自分の暮らしも楽しくなる」、「三茶で活動をするときに、ふらっと立ち寄れて、相談ができる場所があるといい」などの議論が展開されました。

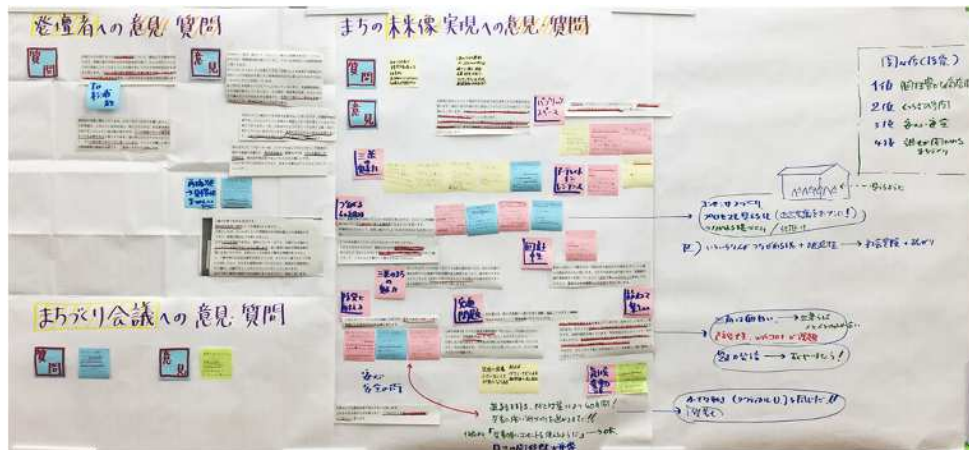


トークセッションのファシリテーショングラフィック

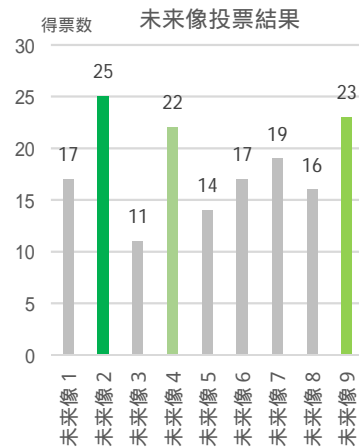
意見交換

参加者からの意見を基に、登壇者の様々な話が展開しました。「商店街において、子ども歓迎の雰囲気を出してもらえると嬉しい」との意見には「商店街でも取り組んでいる最中であり、マップでもご案内している」、「公共の福祉空間について、これからどうあるべきだと思うか」との質問には「色々な方法を行ってみて、その中よい方向を皆で見つけてゆくことが、必要なことだと思う」、「三茶のまちには個人・商店・企業・住宅があり、コンセンサスを取ることが大事ではないか」との質問には「繋がる場づくりや仕掛けが大事」など区も交え、様々な意見が交わされました。最後に進行役から、「三茶が変わることで、周辺にもいい効果をもたらすことで参加の裾野が広がると思う」との意見に対して、「三軒茶屋に暮らしている人たちが、一つひとつのアクションを起こしながら、周りのまちにもいい影響を与えるような循環を作っていけるとよいと感じた」とコメントをいただきました。

また、9つの未来像について、参加者が関わってみたい未来像を伺う投票も行いました。



当日整理した参加者の意見など



◎ 参加者からの意見・質問・アイデアの概要

まちの未来像への意見・質問

- ・未来に向けて変化は必要なので、三茶の雰囲気大切にしながらも変化もしてほしい。
- ・言っていることが抽象的である。今の最大の問題点は何なのかわかっているのか。
- ・9つの課題の中でも優先順位をつける必要があり、未来像5と7だと思っている。
- ・三軒茶屋の核となるものを構築したい。
- ・話が生活に密着していない事ばかりの気がする。住み続けられる町が基本ではないか。
- ・単に住みよい街を目指すのではなく、「訪れて楽しい場所」を目指すべき。
- ・ふところの深い三茶が好きであり、街のミライが今からすごく楽しみである。
- ・茶沢通りは狭く混雑・混乱している。緑豊かで広くし、環境改善できたらよい。
- ・以前三宿交差点と三軒茶屋交差点の間には横断歩道があったが、復活するべき。
- ・三角地帯を開発する組合が活動しているが、消防署の移転先とするなど、思い切った取組みが必要と考える。
- ・電気や通信が途絶えることも前提にしたまちづくりも必要と考える。
- ・平時と災害時にも対応できる整備と、それを支える組織の結成を進めていきたい。
- ・これからも子どもからお年寄りまで、どの年代の人も安心して住める街でいて欲しい。
- ・世代間交流の場も重要になると思う。自然と結びつくものがあると良い。
- ・滞在型のアーティストの住める場所の確保ができないか。
- ・三茶らしい駅周辺の見慣れた懐かしい景色を見続けられることが精神的な安心につながる。
- ・再開発に関して、今の姿を残しながら防災に最低限耐えうる街にできないか。
- ・大手チェーンの割合を一定程度に抑えるような街の制限についてはどう考えているか。
- ・三角地帯の再開発の青写真はあるのか。
- ・パブリックスペースの活用、創出
- ・下北、池尻、淡島、駒場などへ抜けるような回遊性を目指すか。

まちづくり推進への意見・質問

- ・主体的に参加できるようコミュニティを作り、宣伝するといいいのではないか。
- ・活動を自発的にスタートさせるのはハードが高いので、ホームページなどで紹介するのがいいのではないか。
- ・ただ「住む」ではなく街の活動と関わり「暮らす」と、人と繋がり豊かな生活になるのではないか。
- ・まちづくりの担い手が育ち、繋がる仕組みを今後どのように構築していくのか。
- ・一定規模以上の建築は、まちづくり会議の発展組織で議論できるようにしたい。
- ・住民以外の参加のすそ野を広げていくと新たな視点が広がる。鉄道事業者との連携による告知も有効と思う。
- ・まちづくり会議は、総論的議論はできても具体化にコミットできない。公民連携のTMOを組織化したほうがよい。
- ・まちづくり会議の発展組織について、タウンマネジメントを担う組織を作りたい。
- ・新しい取組みについて、規制は緩やかになっている。社会実験 検証 本格実施のルートと一緒に確立していきたい。

取組みへのアイデア

- ・三茶ブランドの掘り起こし、寺社仏閣のブランド化
- ・優しい案内、ガイド、サインの設置
- ・観光オンラインツアー
- ・三茶の魅力発見「三茶学」

まちづくり会議への意見・質問

- ・どんな方が参加していたのか。
- ・オンライン参加者にも伝わるように話してほしい。

その他の意見・質問

- ・これから起こり得る気候の大きな変異において防災の問題が大きいですが、水害の問題は。
- ・下北沢の再開発について、好評を得ている部分もある一方、魅力が消えたと感じる。

詳細はp5～13をご覧ください。

これまでのまちづくり会議の内容や、三茶のまちづくりに関連する最新情報をお届けしております。ぜひチェックしてください！

- 発行元 - 世田谷区 都市整備政策部 市街地整備課
〒158-0094 東京都世田谷区玉川1丁目20番1号 Tel : 03-6432-7155 Fax : 03-6432-7982

三軒茶屋駅周辺のまちづくり



第4回

三軒茶屋駅周辺 参加した皆様からのご意見等(1/9)

まちづくり会議

番号	意見・アイデア・質問	区の考え方等
1	<p>渋谷のように様変わりを目指す必要はないと思うが、田園都市線沿線では、どんどんキレイに衣替えし発展して行く街が増えているように感じている。</p> <p>一方、三茶はキャロットタワーが出来て以降、あまり変わっていない気がする。未来に向けてやはり変化は必要なので、三茶の雰囲気大切にしながらも変化もして欲しい。</p>	<p>平成8年の市街地再開発事業以降、まちに大きな変化をもたらす大規模な改修や老朽化した建築物の更新は行われておらず、公共的な空間の新たな創出はされていないことから、まちの回遊性、滞在性、防災性の向上などに課題があると認識しております。</p> <p>こうした課題の解決には、まちを構成している道路や広場などの空間と商業施設や住宅などの個人や事業者などにより創出される空間、これら公共的な空間を一体的に捉えてデザインし、柔軟な活用に結びつけていく必要があります。</p> <p>「三茶のミライ」を基に、地域の方をはじめ三軒茶屋駅周辺に関わりを持つ方々との連携により、魅力あるまちの雰囲気を継承する取組みなど、創意工夫を図りながら具体化し、その取組みを計画的に進めることにより「三茶のミライ」の実現に努めてまいります。</p>
2	<p>あまりにも内容が理想論すぎる。言っていることが抽象的である。具体的にどうしなければならぬのか、今の最大の問題点は何なのかわかっているのか？</p>	
3	<p>今日のまちづくり会議やこれまでのまちづくり会議には、どのような参加者の方が参加されていたのか？100名ほどが毎回参加されていたようなので気になった。</p>	<p>「三茶のミライ」を思い描くために開催したこれまでのまちづくり会議では、30代～50代の方を中心に、幅広い年代の方にご参加いただきました。また、第3回のまちづくり会議では、三軒茶屋駅周辺でまちづくりに関わりを持つ21の団体にもご参加いただいております。意見交換なども行っております。</p> <p>まちづくり会議の結果につきましては、区ホームページでもご案内しておりますので、是非ご覧ください。</p>

第4回

三軒茶屋駅周辺 参加した皆様からのご意見等(2/9) まちづくり会議

番号	意見・アイデア・質問	区の考え方等
4	渋谷、二子玉川、下北沢が近くにあり、同じようなことをしても埋没してしまう。三茶のミライではその点が明確でない。核となるアピール度の高いものを構築したい。	三軒茶屋駅周辺では、平成31年3月に策定した「三軒茶屋駅周辺まちづくり基本方針」において、まちのビジョンに「進化し続ける交流のまち『三茶Crossing』」を掲げております。「三茶のミライ」は、このまちのビジョンを実現するために、「みんなの計画」として、まちづくり会議やまちづくりシンポジウムで出し合った意見を大切にしながら整理・分類し、より具体的に導き出した9つのテーマを基に、未来像を描いてきました。
5	商店街の支援に関わっている。三軒茶屋は、このように注目を浴び、取り上げられる、ある意味恵まれた街である。いい人いい店が揃う街だが、9つの課題の中でも優先順位をつける必要があると思っている。個人的には5のアクセスビリティ7の災害対策ではないかと思っている。イベントが難しい中でも災害訓練等は継続が必要である。	今後、地域の方をはじめ三軒茶屋駅周辺に関わりを持つ方々との連携により、情報発信や社会実験などを行い、これを繰り返し、積み重ねながら発展させ、まちの未来像実現のための取組みを進めてまいります。
6	トークを聴いていても、何か、生活に密着していない事ばかりの気がする。タクシー専用のナビによる、細街路へのタクシー流入問題など、地先道路でも交通事故防止の観点から、「住み続けられる町」が基本ではないか。	
7	単に住みよい街を目指すのではなく、「訪れて楽しい場所」を目指すべき。	
8	おしゃれなカフェがある一方でコアな飲み屋があったり、なんでも揃う便利な町だけど銭湯や世田谷線が走る風景もあったり。誰が来てもその人にマッチした「好き」が見つかるふところの深い三茶が好きである！そんな街のミライが今からすぐ楽しみである。	9つの未来像の実現に向けて、地域の方をはじめ三軒茶屋に関わりを持つ方々とともに身近な活動から実践し、まちづくりを進めてまいります。
9	是非やりましょう！	
10	三茶の魅力創出 三茶ブランドの掘り起こし、三茶を舞台にした小説、映画の応援。撮影への協力など。	様々な事業者の連携により新たな名物や魅力を創出することは、大切なことと考えております。
11	寺社仏閣のブランド化	未来像2「個性豊かな店が通りを彩るまち」の新しい取組みに繋げたいアイデアとして、三茶ブランドの掘り起こしの視点も参考にしております。
12	茶沢通りは、狭く交通量と人通りも多く混雑、混乱している。緑豊かでスペースを広くして環境改善できたらよい。	未来像4には、「まちなかに広がる公共的空間が居心地の良い場所を生み、人とまちを繋いでいる」姿を描いております。これを実現するための取組みとして、「質、量ともに豊かな地域するための緑地空間整備」や「街区一体化などの面的整備に合わせまちづくり活動ができる広場空間整備」をあげております。 今後、三軒茶屋に関わりを持つ方々と連携した社会実験などを実践し、まち並みとみどりが調和した空間づくりを進めてまいります。

第4回

三軒茶屋駅周辺 参加した皆様からのご意見等(3/9) まちづくり会議

番号	意見・アイデア・質問	区の考え方等
13	<p>三茶の未来PDFのP19に南北分断回避の「吹き出し」が立体にだけ付いているが、平面横断歩道にも「吹き出し」を付けてほしい。以前には三宿交差点と三茶交差点の間には平面横断歩道があったのだから、その復活である。「ミライ」などと言っていないで、すぐに改善されるべき問題である。</p>	<p>未来像5には、「地上や地下に広がる複層的なまちなかを行き来できるなど、誰もが行きたいところに安心して移動ができ、まち全体が繋がっている」姿を描いております。これを実現するための取組みとして、「南北の分断回避を目指した道路横断機能の整備」をあげております。複層的なまちなかを行き来できる様々な手法の表現方法の参考にしてまいります。</p> <p>南北分断回避などの歩行者ネットワーク改善には、周辺開発などの機会を捉えた改善が必要になると考えております。今後も交通管理者をはじめとした関係機関と調整を図りながら、誰もが行きたいところに安心して移動ができるまちづくりにつなげてまいります。</p>
14	<p>交通拠点の機能強化に特に興味がある。バス乗り場も、乗り慣れていると世田谷通り方向と246方向とで意味のある配置がされていることを理解しているが、初めての来訪者にとっても優しい案内、ガイド、サインがあるとイメージアップになるのではないか。</p>	<p>初めての来訪者にとっても歩きやすい歩行空間を整備していくことは、大切なことと考えております。</p> <p>未来像5「誰でも気軽に出かけられるまち」の新しい取組みに繋がりたいアイデアとして、優しい案内、ガイド、サインの設置の視点も参考にしてまいります。</p>

第4回

三軒茶屋駅周辺 参加した皆様からのご意見等(4/9) まちづくり会議

番号	意見・アイデア・質問	区の考え方等
15	<p>登壇者のご意見に賛成である。防災という観点では最優先事項の一つではあるものの、再開発計画を聞いていると、やはり成長期型の大規模再開発に聞こえる。</p> <p>ずっと古くから住んでいる者としては、三茶らしさを体現する駅周辺の昭和レトロな街並みを遠くない将来渋谷のように消し去られるのではないかと行くたびに危惧している。若い世代にも昭和レトロがブームになっているとおり、大規模再開発に人々は飽き飽きしていると共に、人口減少、低成長の未来、さらにコロナで傷んだ人々の生活を守る意味でも、見慣れた懐かしい景色を見続けられることが、精神的な安心につながる。</p>	<p>三軒茶屋駅付近は、老朽木造店舗などが幅の狭い道路に沿って建ち並ぶなど防災面での課題を抱えており、「三茶のミライ」では未来像7に、「建物の不燃化・耐震化・防災空間の充実などにより、防災性が向上している」姿を描いております。</p> <p>当該地区は、関係権利者により構成する市街地再開発準備組合が、再開発事業への合意形成に向け取り組んでおり、区は「三茶のミライ」のもと、魅力ある雰囲気や継承する空間づくりについても創意工夫を図り取り組む再開発準備組合の活動を支援し、再開発事業に関する地域での理解を広げ、9つの未来像実現に向けたまちづくりにつなげてまいります。</p>
16	<p>三角地帯の再開発に関して、今の姿を残しながら防災に最低限耐えうる街にできないか？ほかにない街並みであり是非残してほしい。</p>	
17	<p>10年ほど三軒茶屋に住んでいる。</p> <p>商店街、三角地帯などとても個性的な店、個人が志を持って営業している店が三軒茶屋の魅力だと考えている。今後、海外で採用されている例もあるように、大手チェーンの割合を一定程度に抑えるといったような街としての制限をかけるような施策についてはどのように考えているか？</p>	
18	<p>カオス感、ダンジョン感が魅力の三角地帯の再開発について何かしらの青写真みたいなものはもうすでにあるのか？</p>	
19	<p>(提案・意見)安全・安心のまちについて 三角地帯を開発する組合ができ活動が始まっている。安全・安心なまちのため、老朽化した世田谷消防署の移転先として受入れ、区防災センター(又は分室)の併設などの思い切った取組みが必要と考える。</p>	
20	<p>人の回遊性について 平時と災害時にも対応できる整備と、それを支える組織(自衛防災組織)の結成を同時進行で進めていきたい。</p>	<p>未来像7には、「まちに関わる人々が連携できる、共助による防災、防災及び緊急時に対する体制が整っている」姿を描いております。これを実現するための取組みとして、「災害発生時の組織間の連絡・対応体制構築」をあげております。</p>
21	<p>三茶はNTTケーブル火災も経験した町である。電気や通信が途絶える事も前提にしたまちづくりも必要と考えている。</p>	<p>今後、道路や公園の管理者、ライフラインを管理する事業者などの関係機関と連携を図り、地域の方をはじめ三軒茶屋に関わりを持つ方々と防災訓練などの身近な活動を実践しながら、災害時に備えたまちづくりにつなげてまいります。</p>

第4回

三軒茶屋駅周辺 参加した皆様からのご意見等(5/9) まちづくり会議

番号	意見・アイデア・質問	区の考え方等
22	三茶はとても便利な街で住みやすいと思う。これから子どもからお年寄りまで、どの年代の人でも安心して住める街でいて欲しい。	<p>未来像8には、「多様な暮らしが重なりあう中で、助け・支え合う」姿を描いております。これを実現するための取組みとして、「団体の分野や世代を超えた交流を促進させるイベント実施」や「既存建築ストック提供者と活用希望者とのマッチング推進」をあげております。</p> <p>地域の子どもからお年寄りまで、三軒茶屋に関わりを持つ方々と、まちづくり会議による交流やマッチングの場を通じて、安心して暮らせるまちづくりにつなげてまいります。</p>
23	先日、高齢化率が28%ってニュースが出ていたが、3人に1人が高齢者の時代だと世代間交流の場も結構重要になるようにも思う。作画的ものではなくて、自然と結びつくようなものがあるとなお良いのではないか。	
24	アーティストの大家さん募集。滞在型のアーティストの住める場所の確保ができないか？	
25	<p>外国人観光客を案内する仕事をしているが、谷中などいつもすごく喜ばれる。そのような昭和レトロの街並みを三茶の駅前でも見せることができ潜在可能性を感じている。</p> <p>昨年渋谷のオンラインツアーを作ったので、是非商店街なども巻き込んで、三茶および世田谷のオンラインツアーを作って海外に発信していきたい!!ちなみに、オリンピック前には世田谷のツアーを仲間と一緒に開発しているところだった。</p>	<p>多種多様な人々へまちの魅力を発信していくことや団体の分野や世代を超えた交流を促進していくことは、大切なことと考えております。</p> <p>未来像8「暮らしを通して様々な関係性が生まれるまち」の新しい取組みに繋げたいアイデアとして、観光オンラインツアーや三茶の魅力を発見する学びの場の視点も参考にしてみたいです。</p>
26	三茶の魅力発見 「三茶学」を大学、行政、まち場の人たちで作れないか？	

第4回

三軒茶屋駅周辺 参加した皆様からのご意見等(6/9) まちづくり会議

番号	意見・アイデア・質問	区の方考え方等
27	<p>主体的に自分ごととして参加できる内容であれば多くの方が参加すると思う。幅広い世代や国の方に参加してもらうことで大体のニーズは掴めると思う。まずはコミュニティを作って人を囲い込んでから実際にアクションを起こすのがいいと思う。今は世田谷のどのコミュニティに属すればこのような活動ができるのかが分からないので、まずは団体名・プロジェクト名を宣伝していくのがいいのではないかな。</p>	<p>未来像9には、「様々な形でまちづくりに関われる機会が設けられ情報が共有されている」姿を描いております。これを実現するための取組みとして、「多世代の人が主体的にまちづくりに参加するための啓発活動推進および議論の場創出」をあげております。</p> <p>今後、継続してまちづくり会議を開催し、三軒茶屋駅周辺に関わりを持つ方々と情報共有や意見交換を図りながら、社会実験を行うなど小さな取組みから展開し、まちづくりの担い手が積極的かつ様々な形で関与できる、まちづくりにつなげてまいります。</p>
28	<p>活動を自発的にスタートさせるのはハードルが高いので、例えばまずどこかの活動に参加して人脈を繋げられるルートとか、まずどんな方法があるのかホームページとかで紹介するなどすれば、参加へのハードルが下がるのではないかな。</p>	
29	<p>9つの未来像のイラストがとてもわかりやすかった。どれも大切なものだけど、興味があるのは街とのかかわり方である。例えばただ「住む」じゃなくて街の一員として街の活動と関わりながら「暮らす」と、いろんな人と繋がって豊かな生活になるのではないかな。</p>	
30	<p>まちづくりを推進する担い手が育ち、繋がる仕組みづくりを今後どのように構築していくのかが気になった。まちづくり会議の中で、なのか、新たに拠点を設けるのかなど、アイデアがあれば教えてほしい。</p>	
31	<p>一定規模以上の建築については、まちづくり会議の発展組織での議論ができるようにしたい。</p>	<p>大規模な建築は周辺への影響が大きいため、区では、より良い建築計画を誘導することを目的に、建築構想の段階で周辺住民と建築事業者が意見を交換するなどの手続きを定めております。</p> <p>また、未来像9として「誰もがまちづくりに関われるまち」を描いており、誰もがまちづくりについて話せる場など今後のまちづくり会議の参考とさせていただきます。</p>

第4回

三軒茶屋駅周辺 参加した皆様からのご意見等(7/9) まちづくり会議

番号	意見・アイデア・質問	区の考え方等
32	三茶の魅力創出 コロナ後のことだが、住宅地の中の繁華街を活かして、パブリックスペースの24h開放の可能性	「三茶のミライ」には、「まちの空間デザインの大切な4つのポイント」に、歩行者空間の充実や、回遊性の向上、南北移動の円滑化、パブリックスペースの活用・創出をあげております。
33	烏山緑道の活用 ・せせらぎ他 ・日曜ごとのアートフリマ ・大道芸	今後、まちづくり会議の継続や社会実験を行うなど、小さな取組みを展開し、三軒茶屋駅周辺に関わりを持つ方々の連携を深め、多様な主体によるソフトとハードが一体となった大きなまちづくりにつなげてまいります。
34	新たなパブリックスペースをどう作るか？ 短期でも借りることができる建物、住居を借り上げる仕組みを作るか？	
35	パブリックスペースを確保する。 ・世田谷線の上 ・田園都市線の地下空間 ・246、世田谷通りの上など	
36	三茶で何かイベントをできる空間の確保ができるか。	
37	「三茶まちづくり」の目的 回遊性を目指すか？下北へ、池尻へ、淡島へ、駒場へなど抜けるようにするか？	
38	チャレンジする新しい取組みについて、トークセッションの終わりが出てきたが、規制はかなり緩やかになってきている。社会実験（プロト）検証 本格実施のルートと一緒に確立していきたい。	
39	まちづくり会議の発展組織について 実働部隊として、タウンマネジメント（プロデュース）の担う組織を作りたい。	持続可能な協働のまちづくりを推進するためには、住む人・働く人・学ぶ人をはじめとするまちづくりの担い手となる方々や、まちづくり支援組織、世田谷区がそれぞれの立場や強みを活かしながら参加する体制が必要と考えており、区は担い手の一員として参加するとともに、公共施設や公的施設の利活用に向けた調整などの支援をしていきます。
40	（提案）まちづくり会議について、今のままでは総論的議論はできても具体化にコミットできない。公民連携（区、事業者、出資する住民）のTMO（個人的には0でなくプロデュースのPがよい）を早急に組織化した方がよい。出資（区も1/3、事業者も住民も1/3）を募り常設組織した活動を開始する。	支援組織は、担い手同士の連携を支援し、関係者間の調整を担うなど、まちづくりを中立的な立場で支援していくことが必要と考えており、今後、三軒茶屋駅周辺に関わりを持つ方々と推進体制の構築に向けた実現手法も検討してまいります。
41	参加と協働という観点では、住民以外の参加のすそ野を広げていくと新たな視点が広がると思う。コロナが収まればの話ですが、田園都市線を通勤通学で利用している人に「途中下車」してもらって参加してもらおうよう、鉄道事業者との連携による告知も有効と思う。	通勤通学で利用される方にも参加いただけるよう、鉄道事業者をはじめとした多様な主体と連携を図りながら、まちづくり会議の活動報告や新たなまちの動きなどの情報共有、さらに地域内外に対してまちの魅力を発信してまいります。

第4回

三軒茶屋駅周辺 参加した皆様からのご意見等(8/9) まちづくり会議

番号	意見・アイデア・質問	区の考え方等
42	「行政？」 これから起こり得る気候の大きな変異において防災の問題が大きい。大橋から三茶に向かう下り導線と茶沢通りの代沢から三茶に向かう下り導線がぶつかる場所で水害の問題は。	国道246号と茶沢通り等が交差する三軒茶屋交差点付近は、周辺地域より標高が高い箇所となっており、過去の浸水確認箇所一覧（平成元年～令和3年10月）において、区が把握している浸水は確認されておりません。一方で、交差点付近から離れた緑道近くでは、浸水確認がされているため、区では水害対策として、区道で雨水を地中に浸透させるため、浸透ますや透水性舗装等の整備をしております。さらに、雨水処理するための公共下水道を管理する東京都と連携しながら、対策に努めてまいります。
43	仲間で話しているのではなく画面のこっちに伝わるように話して。マスクのせいもあるが、もごもごしている、聞こえづらい。	この度は、音声が届きづらい状況となり、申し訳ございませんでした。 今後のまちづくり会議におきましては、オンラインで参加した方がより聞き取りやすい環境となるよう改善に努めてまいります。
44	下北沢の再開発について、小田急線沿線沿いを再開発したエリアなど、好評を得ている部分もある一方、かつてからサブカル的魅力を放っていた下北が好きだった人達には、いわゆるジェントリフィケーションされた下北の魅力はほとんど消え去ったと感じることもご承知のとおりだと思ふ。	三軒茶屋駅周辺のまちづくりにおきましては、平成31年3月に策定した「三軒茶屋駅周辺まちづくり基本方針」において、3つの方針の一つとして、「まちの個性を継承・強化する」をあげており、これらの方針を基にまちづくり会議等で出した意見を整理し、9つの未来像を描いております。 今後、地域の方をはじめ三軒茶屋に関わりを持つ方々とともに社会実験の実施や身近な活動を実践しながら、未来像実現のための取組みを積み重ね、「三茶のミライ」を実現していきます。
45	他地区の人から見ると「なぜ三茶だけこうしてとりあげてくれるの？」という声もあると思ふ。三茶が変わることで、周辺地域、世田谷線沿線や周辺にもいい効果をもたらしていくということを見せていくことが、応援参加のすそ野を広げることにもなると思ふ。	【登壇者のまちづくり会議でのコメント】 私もまさにそうだなと感じています。私たち三軒茶屋に暮らしている人たちが、そういった一つひとつのアクションを起こしながら、それが周りのまちにいい影響を与えるような循環を作っていけるとよいと感じました。
46	登壇者のお話にあった公共の福祉空間について最近とても興味がある。美観の面や子供たちを守る安全性の面で、たとえばホームレスの方が長居しづらくなるような仕掛けをしてきたのは世田谷以外もあると思ふ。 「公」と謳う場で結果的に任意の層を排除してきた施策についてどう思うか？また、これからはどうあるべきだと思ふか？	【登壇者のまちづくり会議でのコメント】 公共空間におけるルールづくりの問題は大変難しいことだと思います。多様な価値観の人がいるために、全ての人にとっての正解を一度に求めることは困難です。まず、色々な方法を行ってみて、その中からだんだんとモアベターな方向を皆で見つけてゆくことが、これからの「まちづくり」に必要なことだと思います。

第4回

三軒茶屋駅周辺 参加した皆様からのご意見等(9/9)

まちづくり会議

番号	意見・アイデア・質問	区の考え方等
47	<p>3歳の子育てをする30代である。 登壇者に質問というか要望というか... 三茶といえば、小じんまりとした雰囲気のある飲み屋さんや食事処が多くあり、若者の頃はとても楽しんだ。 ただ小さな子供ができると、意外とランチ・カフェ・夕飯でも子連れで入りやすいお店が少ないように感じる。 低い屋根と暗めの照明は飲み屋には良いが、子どもにとっては明るく開けた空間がありがたいし、2階や地下のお店は様子が見えにくい分、子どもが一緒でも入って良いか伺いづらい、そもそも昼間はあいていないなど... 結局は三茶駅周辺から離れ、公園やチェーンのファミレスへ行くことになる。 区の子育て関係の施設や文化施設が多くあるだけに、残念に思う。 例えば入口に「ベビーカーOK」とだけでも出してもらったり、子ども用の椅子や食器の用意など、商店街全体で、昼間だけでも「子ども歓迎」な雰囲気を各お店や商店街で出してもらえると嬉しい。やはりそれぞれのお店からするとあまり子連れはウェルカムでないのか...</p>	<p>【登壇者のまちづくり会議でのコメント】 ありがとうございます。まさしくそのとおりで、今商店街でもこういうことをやれないかなということに取り組んでいる最中ですが、今コロナ禍の中で、人員削減などいろいろなことがあり、その方向に向かえていないという現状です。 なかでも何軒かは、こういう小さなお子さんが居られる座敷的なものがあるって、そこへランチを食べに来る方もいらっしゃると思います。 もしよかったら今度マップを差し上げますので、もしくは商店街のホームページを見ていただければ、2階の座敷がある店舗もあるのでお子さん連れでも大丈夫です。一回トライしてみてください。 よろしくをお願いします。</p>
48	<p>三軒茶屋交差点を中心に半径300mの地域でソフトとハードの両面から・・・と伺ったが、この範囲には多くの様々な個人・商店・企業・住宅の関係がある。 この領域内での「三茶まちづくり」に関するコンセンサスの構築はこれからの創成期での活動なのか？ 既に活動は進んでいるのか？</p>	<p>【登壇者のまちづくり会議でのコメント】 コンセンサスを取りながら進めていくことが大事だと思います。いろいろなアイデア出し、プレストなども含めて最初からできるといいなと思っています。 既にもう、動いている方は、民間ベースで、団体と団体の方々でいろいろ意見交換をしたり、活動されている方はいると思うのですが、なかなか外に見えてこない部分って多分皆さん感じていると思います。 先ほどの活動もそうですが、そういったプレストしている様子や、コンセンサスを取っている途中も含めて、ふらっと見えるような場所だったり、企画会議をオープンにするなど、そういう場所がもっとあっていいのかなとすごく思います。 単純にそのようなまちづくりの拠点を作れということでもないのですが、そういう拠点があるということは一つ、さらにそういう効果があると思います。みんなが寄って集まって話した、このようなまちづくり会議を今後も続けていってほしいなと思います。 あくまでも今は画面越しにしかみなさんとお会いできないのですが、なるべくいろいろとコロナともうまく付き合いながら、プレストも含めて続けていくことが、このまちでは、これまで何回かやってきましたが、すごく効果があるなどは非常に感じています。</p>